

2022年5月23日

パスワード付き圧縮ファイル（通称 PPAP）の利用廃止に関するお知らせ

ゼビオグループは2022年5月24日以降、業務で使用するメールアカウントにおけるパスワード付き圧縮ファイル(※1「通称 PPAP」)の利用を廃止させていただくことをお知らせします。

パスワード付き圧縮ファイルは、ファイルが暗号化されているため、メール受信時のマルウェアのチェックが極めて困難です。昨今増加しているマルウェア「Emotet」やIcedID(アイスト アイディー)などの感染経路として利用されるなど、悪意ある攻撃が世界中で多数確認されており、当社グループにおいてもこのようなメールの受信が確認されました。

米国サイバーセキュリティ・インフラストラクチャセキュリティ庁(CISA)は、これらのファイルをブロックする対策を提唱しており(※2)、国内におきましても、2020年11月24日に当時の平井デジタル改革担当大臣が、内閣府、内閣官房における「自動暗号化 ZIP ファイルの廃止」を表明されおります(※3)。

こうした背景を踏まえ、当社グループのみならず取引先のお客様との情報セキュリティを一層強化するため、廃止を決定いたしました。お客様ならびにお取引先企業の皆様におかれましては、本施策に対するご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

(※1) 「Password 付き ZIP ファイルを送ります、Password を送ります、Angoka(暗号化)Protocol(プロトコル)」の略称

(※2) 参考：[米国 CISA Alert \(AA20-280A\)](https://www.cisa.gov/uscert/ncas/alerts/aa20-280a)

リンク先：<https://www.cisa.gov/uscert/ncas/alerts/aa20-280a>

(※3) 参考：[平井内閣府特命担当大臣記者会見要旨 令和2年11月24日](https://www.cao.go.jp/minister/2009_t_hirai/kaiken/20201124kaiken.html)

リンク先：https://www.cao.go.jp/minister/2009_t_hirai/kaiken/20201124kaiken.html